

大山町議会議長 米本 隆記 様

大山町議会議員 門脇 輝明

令和4年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	令和 4年 7月20日(水)～21日(木)	
2	研 修 地	滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号	
3	研 修 内 容	(内 容)	(場 所)
		(1)自治体決算の意義と審査のポイント	全国市町村国際 文化研修所
		(2)行政評価等を活用した決算審査	
4	研 修 結 果 又は概要 (意見・ 感想)	<p>(1) 自治体決算の意義と審査のポイント 講師：武庫川女子大学教授 金崎健太郎先生 決算の意義：自治体は予算で当該年度に実施する仕事を決める。決算は予算で決めた仕事が正しくなされたかを審査し確認することである。 決算審査のポイント（特に見るべき事項）として ① 歳入の納入率を確認する ② 不用額を見る（不用となった理由を明確にする） ③ 事故繰越を見る（繰越となった理由を確認する） ④ 実質収支は比較的重要ではないが、実質単年度収支は重要（継続的に赤字であれば注意が必要） ⑤ 経常収支比率は重要（増加傾向であれば資金不足が心配される）等の指摘があった。 また、財政調整基金の運用基準を持つべき（無意味に基金を積み増しすることは適切ではない）とのアドバイスがあった。</p> <p>(2) 行政評価等を活用した決算審査 講師：静岡県立大学教授 小西毅先生 行政評価について、国の仕組みをもとにその意義等について講義を受けた。 その後、藤枝市議会が実施している行政評価を例に、標準的な行政評価の仕組みどのようにすべきかグループ別に分かれて演習を行った。 行政評価は国については法律で実施することとなっているか、自治体においては実施するもしないも自由である。しかし、「経済財政運営と改革の基本方針2022」（2022年6月7日閣議決定）の「4.国と地方の新たな役割分担」に「新型コロナウイルス感染症対応として行われた国から地方への財政移転(交付金等)について、事業実施計画や決算等を踏まえて、その内容と成果を見え</p>	

		<p>る化を実施して上で、成果と課題の検証を進める」とあることから、各自治体の議会における十分に尽くされていたかどうかと問われた時、執行部のやったことという言い訳はできないとの話が合った。</p> <p>演習の例として挙げられた藤枝市は平成22年度から議会改革に取り組んでいる。</p> <p>決算特別委員会は6月定例会において設置し、事業評価対象事業の抽出を行い、9月定例会においては通常の決算審査と併せて事業評価を行い、閉会後に次年度予算に向けた提言をまとめ10月下旬までに市長に提出している。</p> <p>予算特別委員会は11月定例会までに設置し、2月定例会前に新年度予算編成及び決算特別委員会からの提言への対応について説明を受ける。2月定例会では予算審査及び決算特別委員会からの政策提言がどのように新年度予算に反映しているのか審査・確認する。</p> <p>常任委員会では、現年度の主要施策・目玉事業について、6月定例会では課題や問題点を全課から聴取し、11月定例会では上半期の取り組み状況について調書の提出を求め進捗状況を確認している。これを踏まえて、11月定例会閉会後に執行部に対して分野別施策の提言を行っている。</p>
		<p>(3) まとめ</p> <p>決算で見るべきポイントを再確認することができた。また、予算、決算及び通常の委員会審査の有機的な連携によって、議会として町民福祉の増進のためにより大きな力を発揮することが可能になることを理解した。今後そういうことを意識しながら議会活動に取り組んでいきたい。</p>